



国労せんだい

No. 2609
2011年7月20日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

| | |
|------|---------------------|
| 6・20 | 貨物夏季手当低額回答抗議集会(仙・郡) |
| 6・25 | 地本工務協議会定期委員会 |
| 7・1 | 東日本本部組織対策オルグ(郡山) |
| 7・2 | 東日本本部組織対策オルグ(仙台) |
| 7・5 | 第10回地方執行委員会 |

JR7社が政府の要請拒否

雇用への道閉ざされてくれる

四者四団体は解散

6月13日、国交省はJR7社に対し、雇用の要請を行なったが、同時にJR7社より、「JR不採用問題に関する基本的考え方」が提出され、結果的に雇用は拒否された。

このゼロ回答を受けて、四者四団体は6月23日に会議を開催し検討。結論はそれぞれの組織判断に委ねた。

大震災と国労組織

震災に対する労組の対応について述べたい。手前味噌のようで恥ずかしいが、また批判に受け止められる危険もあるが、敢えて出させていただく。



編集長の眼

未曾有の震災に怯み、手をこまねいていた方もいたのではないだろうか。私もそのひとりであった。

だが、国労の動きは素

早かった。直ちに対策本部を立ち上げ、その状況把握と援助、支援へと力強く動き出した。

また全動労と建交労は、「ゼロ回答は不満。引き続き政府を追求する」と、意見の相違があり、結論は各々の意見を尊重し、各組織で判断を行うことで合意。

JR不採用問題での懸案事項であった、「雇用問題」については、東日本大震災の発生と、政治の混乱を受けて、状況を見守る状態で推移していたが、4月から5月にかけて、政治窓口の議員などから国交省に対し、「JR各社への雇用要請」を

「三党政治窓口から「雇用はゼロ」の回答を受け取った四者四団体の政治窓口は、「四者四団体会議にはかり返答したい」と持ち帰った。開催された四者四団体会議では、国労、共闘会議(二者二団体)は、「政府・JRの対応は不満。しかし一杯の努力はした。引き時である」との見解。

その傷を僅かではあるかも知れないが、癒したのだと確信する。

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

また、6月30日、闘争団

見舞金の取り扱い対象

東日本大震災の被災状況再調査と報告を



東日本大震災による組合員と家族の被災状況の調査については、指

月24日)において周知依頼をしているところですが、その後の大規模な余震の発生や、各種証明書の発行遅延などで、地本本部に対する集約の遅れや漏れがあるのが実情です。

各機関組織、特に分会へお願いになります。被災を受けた組合員の報告が滞っていない場合は、速やかに地本本部へ連絡をしてください。

なお、この調査は交通共済の調査とは別のものです。共済に報告しただけでは、被災者に対する「見舞金」の取り扱いの対象にはなりませんのでご注意ください。

具体的には、地方本部の事務連絡(6月20日付)に詳細が掲載されておりますのでご参照ください。また不明な点は、地方本部または最寄りの地方本部役員に問い合わせをお願いします。

「地元での雇用に全力を挙げる」とし、収束を宣言。7月29日に解散の予定だ。全動労争議団は、7月1日に役員会を開催し、雇用確保に向けた運動の継続を確認した。

一方、国労は7月1日、全国代表者会議で収束の方向性を確認し、大会では追加方針を提案する予定だ。

組合員被災状況集約

最終集約へ全力を

東日本大震災とその後の大規模な余震による被災状況の集約については、一面記事に記載通り、地方本部を挙げて取り組みを進めている。

地方本部は今回の被災状況の最終的な集約の目処を7月末に設定しており、各分会・支部に対して、引き続き、正確な調査・集約に全力を挙げて取り組むよう要請している。

組合員被災状況調査

| | |
|--------|------|
| 本人負傷 | 1人 |
| 家族負傷 | 1人 |
| 家屋全壊 | 18棟 |
| 家屋流失 | 4棟 |
| 床上浸水 | 11棟 |
| 家屋半壊 | 21棟 |
| 床下浸水 | 6棟 |
| 家屋一部損壊 | 233棟 |
| 家財損壊 | 131件 |
| 安否不明 | 4人 |
| 家族死亡 | 7人 |

地方本部まとめ (7月1日現在)

出向からJRへ戻り

仙台支社は、保線業務の社員を中心に出向先からJRへの戻りの発令を行なった。今回の出向の戻りについて、会社は「退職者の補充」を理由としている。

それによれば、退職者の数は、設備系で今年度90人、来年度で40人程度の予定。新規採用者は21人である。

異動されたみなさん

山形直支部
舟山 厚志さん
一建山形 山形保技セ

福島直支部
持地 久夫さん
仙建福島 郡幹保技セ

田代 光雄さん
仙建福島 福島保技セ

ボーナス遅配!

6月28日から一日遅れる

情報ピックアップ

東北工事事務所分会「るばた」No.878(7月11日)によれば、同分会の組合員である、佐藤典彦氏に対する夏季手当(6月28日支給日)が担当者の失念により、支給日翌日の6月29日に支払われたというもの。内容の一部を抜粋し掲載する。

1. 経緯
6月24日 賃金支給日に担当者が28日午後には手当てを持ってくと伝える。
28日支給日 連絡なし
29日8時25分頃 担当者

大石 正昭さん
仙建福島 仙建郡山

宮城直支部
山形 招一さん
仙建仙台 仙台保技セ

大友 昌信さん
仙建利府 仙幹保技セ

水戸 栄一さん
仙建利府 仙幹保技セ

荒木 博明さん
仙建古川 仙建利府

エルダー

賃金遅配のミスについては、佐藤氏に対して会社として誠意ある謝罪をしつかりと行うことを強く申し入れる。

組合員の議論から

仙台分連協の議論

現在、仙石線は震災により高城町駅、石巻駅間が不通となっているが、7月下旬から矢本駅、石巻駅間を気動車による運転再開の動きが報道されている。それに伴い、仙石線福田町駅が7月から業務委託化の動きの中、福田町駅に勤務しているAさん(仙台市若林区沖野)とBさん(仙台市泉区松陵)に仙石線の矢本駅への異動の打診がされた。

2. 原因は何か
報告書によれば、担当者は28日、安全衛生委員として郡山に出張。産業医のスケジュール上、とあるが、夏季手当支給確定は5月18日。調整、依頼は可能。

3. 謝罪となっていない
担当者は「自分の責任。申し訳ありません」を繰り返したが、担当副課長は個人の責任であるかのように、会社としての謝罪の言葉がなく、佐藤氏は謝罪の認識が持てなかった。
持参した報告書は、佐藤氏への謝罪が目的ではなく、総務課への報告のために作成したものであると感じられた。

4. 今後について

された意見
矢本駅、石巻駅間は、津波の被害を受けた区間。津波により堤防が決壊し、松林や建築物が流出。護岸

工事の復旧も進捗せず、津波の被害を受けやすい状況だ。JRは、地元の自治体要請により運転再開としていくようだが、社員と利用者の安全対策はどうするのか? 会社の利益のために危険に危険に曝されるのでは。今回の地震のハザードマップを作らせるべき。

駅員や乗務員は、地元の人間だけではない。緊急避難場所の位置や移動ルートを確認していない可能性もある。運転再開以前に、避難誘導などの異常時訓練を実施させるべき。

これらの動きに対して出

含有調査し空調改造も
幹総アスベスト
幹総において、地震により天井から落下した空調用のダクトのパッキンにアスベストが含まれていた問題で、6月23日、組合は窓口を通じて支社に対し確認を行なった。

組合 アスベストが含まれていた物は何か。
会社 名称はフランジ用パッキンである。建築の資料から調べた。東北工事事務所が担当し、現在は撤去済み。

組合 これまでの調査から漏れていたのか。
会社 厚労省などの指導で調査してきたものは、吹付けなどの飛散するものが対象である。ただアスベストであることが判明したため対応した。

組合 まだ被災しないで残っているものがある。損傷し、飛散の危険性はないか。
会社 アスベストの含有を調査し、今後空調の改造も行なっていく。

今回の地震で、駅のヘルメットが不足が判明。配備要求を。
火災時の対応は? 連絡体制はどうするのか? 今回の津波時、仙石線輸送指令は高台にいた列車を低い場所の野蒜駅に誘導しようとした。

指令員の地震・津波に対する教育訓練が必要だ。地本で分会を招集し、地震や原発の問題点を集約して団交を求めよう。

仙台地区の組合員が矢本駅に配転された場合、高城町駅、矢本駅間はバス代行輸送であり、通勤が困難に。

退職のお知らせ
6月30日付
池田 隆さん
山形連合 退職

高橋 秀雄さん
山形連合
テクノ山形

岩淵 正則さん
仙・宮運輸区
テクノ利府

上野 正利さん
福島建築
BT若松

田村 鉄己さん
仙建運輸
東北工機利府

長い間お疲れ様でした